

2023(令和5)年度 NPO 法人みどり多文化共創の会 事業報告

定款第5条に基づき、以下の事業を行ったことを報告する。

(1)非営利活動に係る事業

① 多文化連携及び多文化理解の啓発に関する事業

地域に住む市民がお互いの文化や習慣等の違いを認め合う多文化共生のまちづくりを進めるために事業を実施した。主に、みどり国際交流ラウンジでの多文化連携部会による事業。

(ア)荒野に希望の灯をともし ～ 映画上映と監督トーク

- ・内 容 アフガニスタンで、病や干ばつに苦しむ現地住民の支援活動のため、用水路建設に取り組んだ中村哲氏の軌跡を伝える映画を上映し、地域の人々に国際協力の理解を進めた。
主催:みどりアートパーク 共催:みどり国際交流ラウンジ
- ・日 時 7月5日(水) 13:00～15:30
- ・場 所 みどりアートパーク
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 地域の人だれでも
- ・支 出 額 35,740円

(イ)多文化フェア@なかやま

- ・内 容 コロナが終息したこともあり、当ラウンジとして初めて多くの参加者が集まり、様々な国の文化を楽しむことができた。舞台では、民族衣装ファッションショーやサンバの公演、活動団体のブース、4カ国の料理等のプログラムで、来場者は多文化共生を体験できる機会となった。
主催:中山地区センター 共催:みどり国際交流ラウンジ
- ・日 時 10月1日(日)
11:00～15:00
- ・場 所 中山地区センター
- ・従事者人員 13人
- ・受益対象者 地域の人たちや多文化共生活動の関係者の約400人
- ・支 出 額 185,644円

(ウ)多文化共生プログラム企画研修

- ・内 容 当ラウンジの講座やイベントの企画を地域のニーズに沿ったプログラムにできるよう、部会員が外部の団体等の多文化共生に関する情報を入手し、関心あるイベント等に研修として参加した。
- ・日 時 6月～9月
- ・場 所 みどりアートパーク、緑区市民活動支援センター、横浜市役所アトリウム

- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 多文化連携部会で多文化共生に学ぼうとするもの4人
- ・支出額 8,500円

(エ) 講座「パシャイさんと一緒にイランの障がい者の支援について考える」

- ・内容 NPO 法人イランの障害者を支援するミントの会のパシャイさんから、イランで建設し運営しているリハビリセンターでの支援状況を聞いた。この法人では、イランの障がい者には日本と同様、一人ひとりに沿った計画を立案しサポートを実施している。ワークショップでは、目や耳の障がい者の日常を知る体験をし、ユニバーサルデザインの重要性について気付かせられる機会となった。

主催:みどり国際交流ラウンジ 協力:オリーブみどり

- ・日時 12月16日(土) 14:00~16:00
- ・場所 緑区市民活動支援センター
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 多文化共生に関心を持つ地域の人たち16人
- ・支出額 32,890円

(オ) 勉強会「身近にいる外国人の在留資格について聞いてみましょう」

- ・内容 地域に住む外国人市民が増えて、個人的な付き合いがある人も多くなっている。会話の中で仕事の話が出たときに背景を知っていることで、より良いコミュニケーションが取れることを目的に開催した。講師は行政書士 小口倫礼さん。

- ・日時 2月17日(土) 13:30~15:00
- ・場所 オンライン、みどり国際交流ラウンジ会議室
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 多文化共生に関心を持つ地域の人たち17人
- ・支出額 38,333円

② 外国人支援を含む多文化共創のまちづくりに関する支援事業

主に、みどり国際交流ラウンジでの窓口事務部による情報提供・相談業務。

(ア) 多言語による窓口での相談・情報提供

- ・内容 緑区および近隣に在住する外国人市民の生活およびその他の相談への情報提供と支援。やさしい日本語、英語、中国語、スペイン語による窓口相談。その他の言語に関しては、横浜市多文化共生センターとの連携による通訳相談、もしくはポケットークを使用しての通訳相談。
- ・日時 やさしい日本語・英語 休館日を除いた毎日
中国語 月曜日午前と木曜日午前
スペイン語 月曜日午後と土曜日

- ・場 所 主たる事業所
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住する外国人市民と国際交流に理解・関心のある市民
- ・支 出 額 11,348,486 円

(イ)各種情報の収集・提供

- ・内 容 行政機関や関連機関との連携を通じた情報収集・提供
- ・日 時 随時
- ・場 所 主たる事業所
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住する外国人市民と国際交流に理解・関心のある市民
- ・支 出 額 0円(ア多言語による窓口での相談・情報提供 に含む)

(ウ)窓口スタッフ人材育成

- ・内 容 相談案件対応力の育成、語学ボランティア派遣対応力の育成。個人情報取扱いの研修。
- ・日 時 随時
- ・場 所 主たる事業所、横浜市国際交流協会会議室
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 窓口スタッフ
- ・支 出 額 0円(ア多言語による窓口での相談・情報提供 に含む)

(エ)通訳事業

- ・内 容 公立小中学校、市の施設、区役所、認定保育園などに通訳ボランティアを派遣。外国につながる児童・生徒に対する学校での初期適応支援・学習ボランティアの派遣など。
- ・日 時 随時
- ・場 所 小中学校、保育園、市、区役所など
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 緑区と旭区在住の外国人市民や行政職員
- ・支 出 額 0円(ア多言語による窓口での相談・情報提供 に含む)

③ 外国人支援を含む多文化共創のまちづくりに関する教育及び資格認定事業

主に、みどり国際交流ラウンジでの学習支援部会による事業。

(ア)日本語ボランティア養成講座の実施

- ・内 容 「はじめの一步編」をテーマに外国人市民に対して日本語学習支援ができる支援者を養成した。

・日 時 9月15日(金) 13:30~15:30
・場 所 緑区市民活動支援センター
・従事者人員 5人
・受益対象者 緑区および近隣に在住する市民 26人
・支 出 額 33,010円

・内 容 「学習に役立つ傾聴編」をテーマに外国人市民に対して日本語学習支援ができる支援者を育成した。

・日 時 10月19日(木) 13:30~15:30
・場 所 緑区市民活動支援センター
・従事者人員 5人
・受益対象者 緑区および近隣に在住する市民 18人
・支 出 額 34,881円

・内 容 「学習で必要なやさしい日本語編」をテーマに外国人市民に対して日本語学習支援ができる支援者を育成した。

・日 時 11月8日(水) 13:30~15:30
・場 所 緑区市民活動支援センター
・従事者人員 5人
・受益対象者 緑区および近隣に在住する市民 17人
・支 出 額 14,293円

・内 容 「ここが聞きたい活動のあれこれ編」をテーマに、外国人学習者とも意見交換し、日本語学習支援ができる支援者を育成した。

・日 時 11月25日(土) 13:30~15:30
・場 所 緑区市民活動支援センター
・従事者人員 5人、外国人協力者7人
・受益対象者 緑区および近隣に在住する市民 17人
・支 出 額 11,996円

(イ)にほんご入門クラスの実施

・内 容 日本語初級者のための日本語教室全8回のコース。コース終了後は地域の日本語教室を案内し、学習の継続を支援した。

・日 時 4月~3月 毎週月曜 10:00~11:30 (8回×11クール実施)
・場 所 主たる事業所
・従事者人員 3人
・受益対象者 緑区および近隣に在住する外国人市民
・支 出 額 179,322円

(ウ)地域の日本語教室への支援

- ・内 容 定期的に情報交換会を実施し、教材や教授法などの情報共有促進。各教室の課題・ニーズ等の把握、情報収集、支援を行った。
- ・日 時 情報交換会 毎月第3水曜 13:30~15:30
- ・場 所 主たる事業所およびオンライン
- ・受益対象者 緑区内の日本語教室(9団体12教室)
- ・支 出 額 8,648円

(エ)外国児童生徒の学習支援事業

a. 日本語を母語としない外国児童生徒の学習支援者の育成

- ・内 容 外国につながる子どもたちの支援方法の実践をテーマに学習支援者の養成や既存の支援者のスキルアップをはかった。
- ・日 時 8月25日(金) 13:30~15:30
- ・場 所 緑区市民活動支援センター
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住する市民 15人
- ・支 出 額 51,443円

b. 外国児童生徒の保護者への小学校に関わる情報提供

- ・内 容 小学校の入学準備をテーマとし、服装、持ち物、各種プリントの説明、欠席遅刻の連絡方法、子どもを学校に通わせるための保護者の姿勢等について、先輩保護者や学校関係者と話し合い疑問や不安の解消をはかった。入学説明会で配布された書類の作成支援も行った。(外国人ママパパのしゃべり場)
- ・日 時 2月11日(日) 10:00~12:00
- ・場 所 緑区市民活動支援センター
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 来年度緑区の公立小学校に入学する外国児童生徒の保護者 5人
- ・支 出 額 14,971円

c. 地域の外国児童生徒学習支援教室への支援

- ・内 容 定期的に情報交換会を実施し教材、教授法などの情報共有促進、各教室の課題・ニーズ等の把握、情報収集、支援を行った。
- ・開催予定時期 4月、7月、10月、1月
- ・場 所 主たる事業所およびオンライン
- ・受益対象者 緑区内の学習支援教室(2団体)
- ・支 出 額 11,086円

④ 多文化連携及び多文化理解の啓発、外国人支援を含む多文化共創のまちづくりに関する情報発信事業

主に、みどり国際交流ラウンジでの窓口事務部による情報発信事業。

- ・内 容 ホームページ、Facebook にて、多言語によるラウンジの活動紹介や多文化共生や市民生活に関する情報発信。広報紙発行、ウエルカムキット作成など。
- ・日 時 随時
- ・場 所 主たる事業所
- ・従事者人員 11 人
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住する外国人市民と国際交流に理解・関心のある市民
- ・支 出 額 152,981 円

⑤ 多文化連携及び多文化理解の啓発、外国人支援を含む多文化共創のまちづくりに関する調査研究及び企画(互助・創造)事業

主に、令和5年度みどり国際交流ラウンジ機能強化事業。

(ア)ラウンジ基盤強化と他機関との連携強化

- ・内 容 施設長、各部長、地域交流専任スタッフ 5 名が関連施設へアウトリーチし、広報連携を結び、連携事業を行った。大多数の関連機関が SNS ツールを利用しておらず、オンライン出張窓口の設置は進まなかったが、今後も機会をうかがう。統計システムのICT化を行い、統計作業効率の向上だけでなく、相談内容検索を可能にすることにより、過去の相談データを相談業務に生かせるようにした。
- ・日 時 5月16日～3月31日
- ・場 所 主たる事業所、公立小中学校、インターナショナルスクール、関連施設、関連団体
- ・従事者人員 8 人
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住する外国人市民
- ・支 出 額 3,201,015 円

(イ)学校・学校関連施設との連携強化

- ・内 容 緑区に転入してきた外国につながる子どもとその保護者を対象に、日本での学校生活への適応支援を行った。具体的には「親子で学校スタートプログラム」と題して、子どもにはサバイバル日本語を、保護者に対しては入学手続き書類の作成支援を行った。実施に際して、緑区多言語児童生徒支援者学習会に参加している国際教室の教諭等もサポートとして参加し、プログラム終了後や申込がない回においては、当プログラムの課題抽出や学校との連携についてラウンジ担当者との情報交換、意見交換を行った。行政機関や関連機関との連携を通じた情報収集・提供。

- ・日 時 全 6 回 各回 16:00～17:30
- ・場 所 主たる事業所
- ・従事者人員 4人(講師含む)
※毎回サポートや見学に学習支援団体や学校関係者等が複数参加
- ・受益対象者 公立小学校編入予定の緑区および近隣に在住する外国籍および外国につながる児童8人とその保護者9人
- ・支 出 額 89,005 円

(ウ)霧が丘インド人コミュニティの課題に対する事業

- ・内 容 生活習慣と言語の違いから、日本人居住者と外国人居住者の相互理解が進みにくい現状への取り組み。外国人集住地区の粗大ごみ放置の問題が深刻。インディアインターナショナルスクール(以下、IISJ)に隣接する団地に入居してくる外国人に対し、住まい方のルール説明チラシを作成した。UR 都市機構、横浜住まいセンター、クリーンメイト、NPO 法人ぷらっとほーむとの連携事業。そして、粗大ごみの放置への取り組みとして、IISJ、レインボーキッズインターナショナルスクールに通う児童・生徒の保護者を対象に粗大ごみ廃棄に対するアンケート調査を行った。粗大ごみの捨て方マニュアルを多言語で作成。住居退去時の外国人に配布予定。
- ・日 時 5月16日～3月31日
- ・場 所 UR 都市機構団地内集会所、NPO 法人ぷらっとほーむ
- ・従事者人員 6 人
- ・受益対象者 外国人集住団地とその周辺に住む外国人居住者と日本人居住者
- ・支 出 額 107,719 円

(エ)ウクライナ避難民支援

- ・内 容 祖国が戦争状態であるウクライナ避難民は急遽の日本での生活となり、言葉や文化、風習の違いの中で生活に不自由がある。外国人支援をしている当ラウンジは、ウクライナ支援を行っている横浜 YMCA(東本郷地域ケアプラザの指定管理者)が毎月支援している「MIDORI CLUB」に参加。この場で、地域の病院や施設の情報をウクライナ語で提供し、翻訳機ポケトークを活用した交流を行った。バイオリニストの澤田 智恵氏を招いての音楽交流や、日本文化である風呂敷の使い方講座も行った。
- ・日 時 4月～3月 毎月第1月曜 各回10:30～12:00
- ・場 所 十日市場地域ケアプラザ会議室
- ・従事者人員 延べ 21 人
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住するウクライナ避難民 延べ 152 人。
- ・支 出 額 156,421 円

(オ)やさしい日本語の普及

- ・内 容 「やさしい日本語」は行政の情報や災害情報だけでなく、地域で外国人と日本人が

コミュニケーションをとるためにも必要なツールと考えられるため、ウクライナ避難民やインド人が多く住む地域で「やさしい日本語セミナー」を実施した。実施にあたっては、地域ケアプラザとの連携以外に、近隣の市営住宅の自治会およびその指定管理者とも連携をはかりセミナーの周知を依頼した。その他「やさしい日本語バッジ」を作成し、セミナー参加者、ラウンジ関係者、日本語教室関係者、日本語ボランティア養成講座受講者等に配布しやさしい日本語の普及に努めた。

- ・日 時 10月28日(土) 13:00～15:00
- ・場 所 十日市場地域ケアプラザ
- ・従事者人員 4人(講師含む)
- ・受益対象者 緑区および近隣に在住する市民 15人
- ・支 出 額 298,701円

(カ)地域ケアプラザとの連携で自治会の多文化共生地域づくり

- ・内 容 外国人市民とのコミュニケーションがほとんどない東本郷地区の多文化共生を進めるため、「異文化交流会アイリス」を立ち上げた。この団体をモデルケースとして「技能実習生との交流会」開催 2 回、「聞いてみませんかアフリカ西海岸セネガルの話」の講座を開催し地域の国際理解を進めた。また、東本郷地域ケアプラザと次年度の計画について検討した。
- ・日 時 9月24日(日)、1月23日(火)、2月25日(日)
- ・場 所 東本郷管理組合集会所、東本郷自治会館、
- ・従事者人員 9人
- ・受益対象者 東本郷地区在住の外国人市民7人と市民 14人
- ・支 出 額 218,982円

(キ)外国人のための交通安全教室

- ・内 容 市営バスを使用した、体験型の楽しい交通安全教室の開催。バス乗降時の安全や道路横断時の注意点を普及。保護者には公共交通機関におけるマナーを普及させた。IISJ、横浜市交通局、緑区役所地域振興課との共催。
- ・日 時 5月22日(月) 12:30～14:30
- ・場 所 IISJ 駐車場
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 IISJに通う、小学1年生とその保護者 58人
- ・支 出 額 9,804円

(ク)語学ボランティアの交流

- ・内 容 学校に入り込み、児童・生徒の母語支援を行うボランティアのための情報交換会の開催。悩みやノウハウの共有を楽しく行い、新規ボランティア増員もねらった。
- ・日 時 11月11日(土) 10:00～12:00
- ・場 所 主たる事業所

- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 語学ボランティア 20人
- ・支出額 143,947円

(ケ)子どもを持つ外国人のためのしゃべり場

- ・内容 外国につながる子どもを持つ親が情報弱者にならないための取り組み。地域の知合いを増やし、子育てや子どもの教育に必要な情報を共有できる場をつくった。
- ・支出額 273,406円(a 公園であそぼう、b ママパパのしゃべり場 2回)

a. 公園であそぼう

- ・内容 未就学児童を持つ親子が集まってあそべるイベントの共催。緑区子育て支援拠点 いっぱ、霧が丘地域ケアプラザとの共催。外国人集住地区にある公園で開催した。
- ・日時 11月24日(金) 10:30~12:00
- ・場所 緑区萱場公園
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 外国人集住地区及びその近隣に住む未就学児とその母親 51人

b. ママパパのしゃべり場「教えて！日本の小学校」

- ・内容 公立小中学校の入学をテーマとし、学校生活、学習方法、入学費用、卒業式の服装等、疑問や不安なことを先輩保護者等と楽しく話し合う会を開催した。
- ・日時 10月29日(日)9:30~12:30、12月2日(土)10:00~12:00
- ・場所 主たる事業所およびぷらっと kiricafe
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 来年度緑区の公立小中学校に入学する外国児童生徒の保護者他 19人

事業の実績

- 令和5年度みどり国際交流ラウンジ管理運営委託(令和5年4月1日~令和6年3月31日)
- 令和5年度みどり国際交流ラウンジ機能強化事業(令和5年5月16日~令和6年3月31日)
- その他イベント参加
 - ・十日市場地区センター地区まちびらきイベント「みんなでつくる休日。ピクニック DAY」
(令和5年5月27日開催)
 - ・みどリーむまつり 2024 (令和6年3月2日開催)